



イオンビーム育種法により、福井県の気候に適した山田錦 (酒米最高ブランド)を開発。試験栽培、醸造を行います

このたび、福井県立大学と共同で、福井県での栽培に適する山田錦の新しい品種「山田錦FW1号」を作り出すことに成功しました。

酒米の最高ブランドである「山田錦」は、気候などの生育条件が限られており、福井県での栽培には適していませんでした。

平成30年度から公募型共同研究（エネ研事業）により、イオンビーム育種法を用いて福井県の気候条件などに合った品種改良に取り組み、開発した新品種は、本年4月21日、農林水産省への品種登録出願が受理されました。

また、6月13日には、本研究を実施している生物資源研究室 高城 啓一 室長が県立大 三浦 孝太郎 准教授とFBCラジオ「ユングレディオ」に出演し、福井市のスタジオから生放送で「山田錦FW1号」の開発の経緯等をわかりやすく紹介しました。



スタジオの様子（左から2人目が高城室長。県立大提供）

今後は、共同研究を行っている久保田酒造（坂井市）による試験醸造を行い、来年春の試験販売を目指していきます。「さかほまれ」と並んで「酒どころ福井」を支えていくお米として、酒蔵や農家の皆様に評価されるよう、これからも研究を続けていきます。

中部イノベネットOPENイノベーションサロンでイオン加速器を紹介しました

6月6日に開催された、中部イノベネットが主催するイベント「第1回中部イノベネットOPENイノベーションサロン」において、岩瀬 彰宏 所長がエネ研のイオン加速器を利用した様々な研究について紹介しました。

「シンクロトロン放射光、イオンビームって研究開発の何に使えるのか？」をテーマに、エネ研のほか、あいちシンクロトロン光センター、日本原子力研究開発機構の研究者やコーディネータが参加者とサロン形式にて気軽にクロストークしながら、その使い方や分析方法、現在の利用状況などについて解説しました。このイベントには、会場・オンラインと併せ、56名が参加しました。

各機関の紹介後に行われたクロストークやブレイクアウトルームでは、エネ研のイオンビーム育種やイオンビーム分析・材料改質に関して活発な質疑応答がなされるなど、エネ研研究者と参加者の交流が行われました。これを契機として、今後の各機関との連携が期待されます。



会場（名古屋駅前イノベーションハブ）の様子
（公益財団法人中部科学技術センター提供）

令和4年度の主な事業の御紹介

エネ研は、「研究開発」、「産業支援」、及び「人材育成・交流」を三つの柱として事業を行っています。本号では、前号の「研究開発」に続き、「産業支援」及び「人材育成・交流」について御紹介いたします。

産業支援

発電所等の廃止措置やメンテナンス業務への県内企業参入促進

原子力発電所関連の工事に県内企業がより一層参入できるように、電力事業者や工事全体を受注した会社等と協力して、県内の企業向けに説明会・情報交換会を開催します。



廃止措置工事情報交換会

地域産業の振興を目的とした新製品開発や販路開拓の支援

県内企業の新技術・新製品の開発に向け、その規模や段階に応じた3種類の補助金制度を用意して、資金面を中心に応援します。また、この制度により開発された技術や製品を県の内外で開催される展示会等で紹介したり、新たな事業のアイデアやヒントが得られる展示会に足を運んでもらうため、事前準備の段階から相談に応じアドバイスをすることで企業をサポートします。



補助金を
利用して
開発された
商品

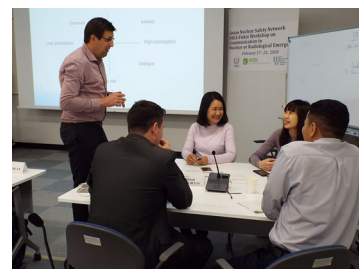
人材育成・交流

国際原子力人材の育成

「嶺南Eコースト計画」の一環として、アジアを始めとした世界の原子力の安全技術と人材育成に貢献するため、海外からの研修生の受入れ等を進めています。IAEAと連携して、ANSN（アジア原子力安全ネットワーク）研修や研究炉スクールを実施します。

また、アジア諸国の原子力関係技術者、行政官等を3年ぶりに招き、原子力プラント安全等に関する研修を実施します。

さらに、国際シンポジウムを敦賀で開催します。



IAEAとの連携研修

国内原子力人材の育成

県内企業の技術者等を対象とした研修や、原子力の保修技術に必要な技量の認定講習・試験を行い、県内企業の育成・原子力分野への参入促進を図ります。また、廃止措置の理解促進に向けた研修を充実します。

大学院生を対象とした留学支援や、県内の高校生などを対象とした原子力グローバルスクールを開講し、国内人材の国際化を目指します。



原子力関連業務従事者研修

本誌を読まれての御感想、御意見を下記担当あてお寄せください。

住所: 〒914-0192 福井県敦賀市長谷64号52番地1

E-mail: kikakushien@werc.or.jp

TEL: 0770-24-7273 FAX: 0770-24-7275

公益財団法人若狭湾エネルギー研究センター エネ研ニュース担当

朝、通用口に現れたお客様
(体長約8センチのアオガエル)
中に入りたようでした。

